

昭和24年「長崎の鐘」や「青い山脈」の歌が流行ったように道中、お客さま自身の悲惨な戦争体験が脳裏をよぎり、同じ思いをしただろう

東京出身の若いガイドさんが紺の制服と白い手袋で、明るく心に寄り添った東京案内を聞きながら景色に見入り、入社わずか5日目で一生懸命前を向くガイドさんの立ち姿と振る舞いに感銘を受けたお客様の顔が浮かびます。私の心にも昭和の古き良き時代への愛おしい鐘の音が響きました。

♪ああ〜昭和の鐘が〜鳴る〜♪

品川車庫、運転手さんと肩を並べ終業点呼に向かう夕闇迫る歩く姿の風景が26階建ての高層自社ビルがそそり立つ景色に変わるとはだれが想像したでしょうか？創業以来、時代の価値の変化にUP・D・A・T・Eし、東京観光の発展と社会的な使命を果たし、歴史を刻んでいきます。私たちはその一役を担っ

たことに改めて誇りを感じます。この度は、定期観光運行開始75周年おめでとうござい

さて、今回の鳩友会特別企画サンキューツアーは前日の嵐のような天気から一転、春うらら絶好の旅行日和でした。(翌日も天候が急変しました) 昨年の新車 #371、#372号車に2000年入社の方、遠く地方からお越しの方、杖を突いてでも参加された方など様々な職種の方にご乗車戴きました。当時のイメージ

「紺の制服」を参加者のOGガイドさんが身に着けてそれぞれ自身の現役時代の思いを乗せて乗務体験戴き、本人たちもまんざらでない「どや顔」が印象的でした。

靖国神社の桜の標本木を見て、開花予想したり、若い頃は芸能人に会えると憧れた(勘違いした?)東京のシンボル東京タワーでは「はとバス75周年」記念イベントへ参

加しました。東京タワーの前田社長も直々にお出迎えいただき、「シャボポ」、東京タワーの「ノッポン兄弟」との記念撮影、時間を惜しみつつも

バスは皇居前に移動、都内最高のロケーションにある何十年ぶりか?笑顔が涙に変わるほど懐かしい「旧楠公食堂」で思い出話に花が咲き「くすのき御膳」の昼食に舌鼓、更に楠公上下(社内用語・楠公からの往復ルートのこと)、二重橋を現役の若いガイドさんに連れられて、まるで戦後の「東京だよ!おっ母さん、おっ父さん」の昭和が嬉しくたまらなく記念写真を撮りました。

さすがにOGガイドさん達!!左の写真のようにポーズを決めてくれました!



▶昔の制服でハイポーズ

最終降車箇所は今や外国語が飛び交いお祭りみたいに賑わう仲見世を懐かしい思いに耽り散策、定番Aコースの食事付き約7時間(ほぼ

日Cコース)でした。帰路、車中ではA回転の話、BGMのカラオケが流れたら誰からとも口ずさみ昭和24年の流行歌や「東京のバスガール」の歌声は、歌詞と心が重なり、遠い昔を懐かしみ久々の東京遊覧バスを謳歌して参りました。心地よい疲れの中にも新たな活力の萌芽が見えた気がします。又ひとつプラ

イストレスで最高の思い出ができましたよ!素晴らしいひと時を名残惜しみ、「また、鳩友会で会いましょう」と再会を固く固く誓い合いました。(バス2台参加56名様)



▶副会長お元気です!

今回企画していただきました鳩友会の役員の皆様にご御礼申し上げます。是非、次回も参加したいです。参加できなかったみなさんへ二緒に行きましょう!今から待ちきれません!



▲東京タワー玄関でハイポーズ!

